

進路だより



福島県立相馬支援学校
進路指導部
令和6年3月8日発行

ご卒業おめでとうございます

小学部、中学部、高等部の卒業生の皆さん、保護者の皆様ご卒業おめでとうございます。学校生活の中で、様々な経験をし、一回り大きく成長して卒業を迎えたことと思います。

小学部、中学部を卒業する皆さんは、次のステージへ進みます。新しい環境となり、期待と不安があると思いますが、これまで学んだことを生かし、一歩ずつ進んでいってほしいです。

高等部を卒業する皆さんは、12年間の学校生活を終え、企業や事業所等などの新しい環境での生活がスタートします。今まで学校生活で学んだことを生かし、自分らしく頑張ってください。新しい環境となり、迷うことや悩むこともあると思いますが、周りの人に頼ることも大切なことだと思います。今後も卒業生の皆さんの活躍を期待しています。

令和5年度進路状況【高等部】

種別	進路先
企業	IHI ジェットサービス ヨークベニマル相馬店 薬王堂南相馬原町店 福島ダイハツ株式会社南そうま店
就労継続支援B型	多機能型事業所めぐみ 工房もくもく はらまちひばりワークセンター ビーンズ あさ家
生活訓練	ウィル生活訓練
生活介護	スマイルワークエール ぴーなっつ あーす ともに そうま楽憩園 工房もくもく
進学	宮城障害者職業能力開発校

「個別の移行支援会議とは・・・」

高等部卒業後、福祉サービス事業所を利用する生徒について、学校での様子、合理的配慮事項などの情報を卒業後の関係機関に伝えます。学校生活から社会生活に移行し、安定した生活を図るための大切な会議となっております。会議には、本人、保護者、利用する事業所、相談支援事業所、担任、進路担当が参加し、その際に、利用について申請の手続きの確認もしております。今年度は、2月に実施し、生徒一人一人の情報をお伝えし、本人も卒業後のイメージをもつことができました。



「卒業後のアフターケア」

卒業後のアフターケアとは、卒業生に対する支援を積極的に行い、職場勤務や福祉サービス事業所での生活の定着を図ります。その期間は、2年間を目安としています。産業現場等における実習中や夏季休業中、および必要に応じて行っています。

今年度は、卒業生に質問をし、「現在頑張っていること」を聞いて、校内に掲示しました。現在は、職員室前の廊下に掲示しておりますのでご覧ください。卒業生の様子は、在校生にとっても卒業後の具体的なイメージをもつことができると思います。



～現在頑張っていること(一部抜粋)～

【生活介護事業所】

Aさん:掃除をがんばっている。



【就労継続支援 B 型事業所】

Bさん:組み立て作業やクリーニング業務など間違いないように意識している。

集中して取り組むこと。

Cさん:体調管理のために運動を頑張りたい。

Eさん:仕事を頑張ったたくさんお金を貯めたい。



【一般企業】

Eさん:仕事に集中できるように休日でリフレッシュし、オンオフの切り替えができるように意識している。

Fさん:掃除を素早くできるように意識して頑張っている。

★卒業生からは、社会生活での大切なことをたくさん聞くことができました。

清掃活動、体調管理、仕事の正確性や効率、ストレスの解消、目標をもつことなど

学校生活で行っていることが社会生活でも必要となってくると思います。